

2025 年 MZ シニア 統一車両規則書

令和 6 年 12 月 26 日

● 名称

MZ シニア 統一車両規則

● シャシー

- ・ ジュニア、キッズカート、レンタルカート以外の各一般市販品。(例：OK、KZ 用フレーム)
 - ・ 非売品シャシーや修理以外を目的とした加工や切断等は原則認めず、運営側への申告が必要。
 - ・ 脱落式フロントフェアリングの装着は推奨とする。
- 脱落による 5 秒加算は適用されないが、完全に脱落し走行に支障をきたす場合はオレンジボールフラッグが提示される。
- ・ 安全上問題がないものとしリアプロテクション装着は義務とする。
 - ・ リアトレッド幅は最大 1400 ミリまでとする。

● エンジン

・ YAMAHA MZ200RK、RKC

- ・ 切削付加等の変更、改造及び一般市販純正部品以外への交換は原則禁止。但し、エキゾーストの割れ防止部品の取り付け、リコイルスタター故障の対策品への交換は認める。
- ・ MZ200RKC のセルモーター、それに付随する部品は取り外し可能。但し、セルモーターを外した時にできる穴はカバー等で隠すこと。

- ・ エアークリーナーは YAMAHA 純正パーツに限る。但し、雨天時のみ雨よけカバーの取り付けは認める。

※ MZ200 パワーエアークリーナー (7DH-4401-SP) マニホールド (7DH-E440F-SP) 純正エアークリーナー (7CN-E4410-50)

- ・ 純正エアークリーナーに内蔵するスポンジの取り外しは禁ずる。
- ・ パワーフィルターへの雨カバー取り付け加工で上蓋部分に M6 の孔開け加工は認める。但し、通常走行

- ・ 時は M6 ボルトを取り付け、必ず穴から空気が入らない様にすること。
- ・ ドライイブスプロケットは自由とする。但し一般市販品且つ、鉄製に限る。

- バルブクリアランス

エンジンのヘッド部分に搭載されている吸気、排気バルブと各ロッカーアーム間のクリアランス値は以下の通り指定される。

吸気側：0.1～0.25

排気側：0.1～0.25

また、この値はエンジンを完全に常温に戻した時の値である。

- 点火時期
一切の変更を認めない。

- クラッチ

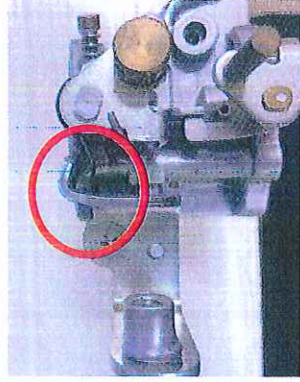
- ・ ヤマハ純正市販品「アクロナイネン乾式クラッチ」のみ使用可能。
- ・ クラッチミート回転数は 2200 回転未満とする。

定義：車両が地面に設置していない状態で、2200 回転未満でリアタイヤが回転すること。

- キャブレター

2025 年 SL カートミティンング車両規則に準じ、パーツ交換、切削等の加工は禁止とするが、以下の調整は走行性能維持の為認められる。

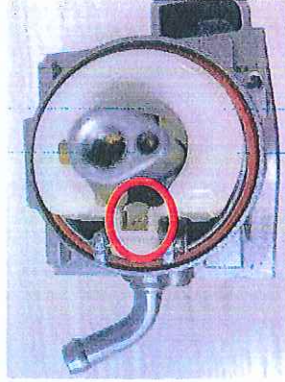
- ・ アクセルレバー全開調整でのストッパーの曲げ加工は認める。但し、他パーツの交換、切削、溶接は禁止とする。



- ・ メインジェットは 92.5(メーカー出荷時)固定とし、加工、切削、他メーカーのジェット交換は禁止とする。

- ・ 油面調整はフロートのフロートアームの曲げ加工のみ認められる。

※フロート重量変更、フロートバルブへの加工は禁止とする。



- オイル
 - ・ 一般市販品。但し安全上問題がないものに限る。添加剤等は禁止。
- ガソリン
 - ・ 各シリーズに準じ、指定されたガソリンスタンドで購入、使用すること。指定がない場合は一般市販ガソリンを使用すること。
 - ・ ガソリンへの添加剤等の使用は一切禁止する。また、抜き打ちで検査を行う場合がある。
- パワーウエアトレシオ（吸気リストラクター、最低重量）
 - ・ 2種類のパッケージから選択することが可能。
 - ・ 毎大会、事前車検時に選択するパッケージを申告すること。大会中のパッケージ変更は禁止
 - ・ 但し、サブドライバードライバー変更時のみパッケージ変更が可能。事前に申告が必要であり、申告忘れ等の対応は一切受け付けない。
 - ・ パッケージごとのクラス分けは行わず、全車同じ土俵で戦わなければならない。

※RBCのみ、耐久レースのため若干の変更あり

パッケージは以下の通りである。

名称	吸気リストラクター	最低重量
スタンダード	なし	150kg
ライト	Φ15.3 以下	135kg

※LetWing製の吸気リストラクターのみ使用可能。

※7キロ以上を下回った場合(143キロ、又は128キロ未満)、後2大会の出場を停止する。これは翌年も適用される。

- タイヤ
 - ・ NEXXIVE S1K（フロント 4.5×10.0-5、リア 7.1×11.0-5）
 - ・ リアタイヤは7.1×11.0-5(幅広タイプ)のみ採用。6.0×11.0-5は使用不可。
 - ・ パンク、バースト等やむを得ない理由を除き、大会中は登録したタイヤから変更は不可。ただし、公式練習のみ各運営の判断で登録タイヤ以外の使用が認められる場合がある。
 - ・ パンク、バースト等でやむを得ずタイヤを交換する場合は運営側に申告が必要。但し新品タイヤは使用不可。
 - ・ ドライ、ウェット共に採用。レインタイヤ設定はなし。
 - ・ 大会中のタイヤローテーションは可能だが、全輪回転方向を合わせること。
 - ・ 前後逆に装着することは禁止とする(フロントにリアタイヤ装着等)